

## 男女共同参画推進連携会議 企画委員会 議事概要

1. 日 時 : 平成27年9月10日(木) 15時～17時
2. 場 所 : 中央合同庁舎8号館5階共用C会議室
3. 議 題 :
  1. 有識者議員自己紹介
  2. 最近の男女共同参画・女性活躍推進の動きについて
  3. 男女共同参画推進連携会議の改選状況について
  4. 男女共同参画推進連携会議の今後の活動について
  5. 男女共同参画推進連携会議 全体会議について
  6. その他

#### 4. 出席者 :

(有識者議員)

明石議員、飯田議員、石井議員、犬塚議員、大崎議員、上林議員、北村議員、権藤議員、徳倉議員、羽入議員、林議員、山屋議員、横田議員、吉田久子氏(渡邊議員代理)

(事務局)

武川 内閣府男女共同参画局長、華房 内閣府大臣官房審議官(男女共同参画局担当)、池永 内閣府男女共同参画局総務課長、石橋 内閣府男女共同参画局男女共同参画推進官、酒井 内閣府男女共同参画局政策企画調査官

#### 5. 議事概要

(議員自己紹介について)

各議員より、自己紹介を兼ねた挨拶が行われた。

(最近の男女共同参画・女性活躍推進の動きについて)

資料1に基づき、内閣府池永総務課長より報告があった。

(男女共同参画推進連携会議の改選状況について)

資料2に基づき、平成27年8月16日付で改選された新たな男女共同参画推進連携会議の議員について、事務局より報告があった。

(男女共同参画推進連携会議の今後の活動について)

事務局より資料3に基づいて説明の後、意見交換を行った。

議員からの主な意見は以下のとおり。

#### <1>聞く会について

- ・平日昼間開催が多いが、テーマにあわせてもう少し若年層が参加できるような曜日・時間帯に設定することも検討したらよいと思う。
- ・登壇者に企業が含まれる場合、開催場所の提供も依頼するなど、新しい工夫を行って新たな層を開拓することも検討いただきたい。

## ＜2＞チーム活動について

- ・提案の2つに加え、ソーシャルな活動もあると良いと感じた。例えば若年層への男女共同参画に関する教育等。エンパワーメントとは「各人が自己決定権を十分に行使する」ということであり、ライフデザイン・キャリアデザインを踏まえた教育が必要。エンパワーメントチームのサブチームでも良い。団体推薦議員のネットワークを活用し、グッドプラクティスの収集等が可能ではないか。
- ・参考資料1のパンフレットはとてもわかりやすくまとまっているが、若年層、特に中高校生に男女共同参画を説明する際には、年齢にあわせた説明をする必要があるとも感じる。
- ・各自治体でも小中高生向けツールを多数作成していると思うが、学校現場は多忙のため、教材を配布しただけでは十分ではない。教材の活用方法までフォローすることが重要。
- ・若年層向けキャリア教育、ライフデザイン教育の分野で活用できるツールに関する情報発信ができるとう良い。
- ・文部科学省の「土曜学習応援団」等の取組とうまく連携できると良い。
- ・次世代への働きかけが重要。教育関係の団体推薦議員を通して、教育関係者へ働きかけていくことができるのではないか。
- ・能力がある女性が輝くという面だけでなく、貧困等の困難を抱えた女性への支援等、現在の日本社会の課題に関する視点も踏まえる必要がある。
- ・男女共同参画の推進には男性の意識改革が何よりも重要。男性の当事者意識の低さが大きな課題。大企業だけでなく、地方の中小企業経営者にも訴求力のあるような好事例等を発信していく必要がある。
- ・女性活躍推進法が成立したことは画期的なこと、WEPS、男性リーダー行動宣言を広めるタイミングとしてとてもいい時期だと思う。
- ・ボトムアップの取組も重要だが、並行して企業トップの意識改革やリーダーシップなどトップダウンの取組も必要であると思う。男性リーダーの会等の取組活動も、チーム活動において広めていければと思う。

上記意見を参考に修正を行い、全体会議にあらためて案を図ることとした。

(男女共同参画推進連携会議 全体会議について)

事務局より資料4について説明を行った。

以 上